

(一社) 日本原子力学会 関東・甲越支部
2019年度 支部大会

議事次第

- | | |
|----------------------------|-------------|
| 0. 開会・成立確認 | |
| 1. 支部長挨拶 | 15:30~15:40 |
| 2. 2018年度 活動報告 | 15:40~15:50 |
| 3. 2018年度 収支報告(暫定) | 15:50~15:55 |
| 4. 支部規則改訂の審議 | 15:55~16:00 |
| 5. 2019年度 支部長の交代及び支部幹事の選任等 | 16:00~16:10 |
| 6. 2019年度 事業計画(案) | 16:10~16:15 |
| 7. 2019年度 収支予算 | 16:15~16:25 |
| 8. 2018年度 支部表彰 | 16:25~16:35 |

2019年4月12日 電力中央研究所 大手町地区(大手町ビル)

1. 支部長挨拶

2. 2018年度 活動報告

(1) 支部大会

日時：2018年4月5日（木）15：30～17：15

場所：電力中央研究所大手町地区（大手町ビル7階） 733会議室

議題：

①2017年度 事業活動報告、収支報告

②2018年度 支部幹事・顧問の選任

③新幹事の紹介

④2018年度 事業活動計画、収支予算

⑤2017年度 支部表彰（原子力知識・技術の普及貢献賞：1件、技術貢献賞：1件）



3

2. 2018年度 活動報告

(2) オープンスクール(1)

「青少年のための科学の祭典2018全国大会」

2018年7月28日（土）～7月29日（日） 於 日本科学技術館 参加者総計 約1,400名

タイトル：身近なふしぎ探検 『身のまわりにある放射線』

- 実験1：身近な放射線を測ってみよう（放射線計測体験）
 - 放射線計測器で身近なものから発生する放射線を計測してみる。
 - 放射線の性質を調べてみる（材料の違いによる遮へい能力、距離の効果を調べる）。
- 実験2：身近な放射線の動き（飛跡）をみてみよう（霧箱製作体験）
 - 霧箱を製作して放射線（主にアルファ線）の飛跡を見てみる。



放射線計測



霧箱工作

4

2. 2018年度 活動報告

(3) オープンスクール(2)

「平成30年度会員獲得・原子力理解活動」

2018年8月18日(土)～8月19日(日) 於 東芝未来科学館イベントホール

参加者総計 約1,130名 (2日間)

タイトル：未来を見据えた原子力オープンスクール2018

- ・実験1：見えない放射線の動きがわかるふしぎ(霧箱工作)
- ・実験2：いろいろな方法で作られる電気のふしぎ(発電模型を使った体感)
- ・実験3：ベントナイト粘土のふしぎ(ベントナイト粘土を使った実習)
- ・実験4：感じないけどそこにある放射線のふしぎ(放射線に係わるクイズと放射線計測)



霧箱工作



発電模型を使った体感



ベントナイト粘土を使った実習

2. 2018年度 活動報告

(4) 設備等見学会

開催日：2018年6月27日(水)

参加者：12名

見学場所：

- ・電力中央研究所 我孫子地区
 - －共振振動台
 - －ヘリカルX線CT装置
 - －地下水年代測定装置
 - －津波・氾濫流水路
 - －人工バリア性能評価装置

開催日：2018年8月27日(月)～8月28日(火)

参加者：30名

見学場所：

- ・JAEA研究施設
 - －楢葉遠隔技術開発センター
 - －廃炉国際共同センター
- ・東京電力施設
 - －東電福島第一原子力発電所



津波・氾濫流水路



楢葉遠隔技術開発センター

2. 2018年度 活動報告

(5) ダイバーシティ推進委員会への協力

「女子中高生夏の学校2018～科学・技術・人との出会い～」

開催日：2018年8月10日（金） 於 国立女性教育会館

要員派遣：女子学生 3名



量研機構による2件の
ポスター発表協力

展示会場入口での
資料配布



参加協力頂いた皆さん

7

2. 2018年度 活動報告

(6) 若手研究者・技術者発表討論会（ポスター発表）

開催日：2018年10月15日（月）

場所：電力中央研究所 狛江地区第3棟会議室

- 発表件数：23件、
- 参加者：約70名
- 奨励賞：7名

• 安田 昌樹（芝浦工大）

「促進酸化手法を用いた高レベル放射性廃液処理から発生する使用済み吸着材の分解処理技術開発」

• 三角 和弘（電中研）

「福島沖の海底土の ^{137}Cs の時空間変動の数値シミュレーション」

• 齋藤 直樹（山梨大）

「水平二重管破断時の空気浸入過程に関する研究」

• 伊東 亮（東芝エネルギーシステムズ）

「磁気減衰を利用した転動振り子型動吸振器の開発」

• 笠井 宏哲（都市大）

「核エネルギーから電気エネルギーへ直接変換する核分裂電池のPHITSを用いた効率評価手法開発」



ショートプレゼンテーション



ポスター発表

8

2. 2018年度 活動報告

(6) 若手研究者発表討論会 (つづき)

- 河内 拓也 (東工大) 「1F格納容器内調査に向けたエコーPIV法の適用検討」
- 長井隆浩 (日立製作所) 「廃炉作業向けセンサレスマニピュレータの遠隔制御技術の開発」
- 特別講演：齋藤 幹久氏 (電中研) 「次世代のライフラインの安定運用を目的とした新たな雷観測システムの開発」



奨励賞の受賞者の皆さん

9

2. 2018年度 活動報告

(7) 学生研究発表会

開催日：2019年3月8日 (金)

場所：東京工業大学 大岡山キャンパス 大岡山北1号館1階会議室・大岡山北3号館多目的ホール

-発表件数：61件

-優秀賞：2名

- 多原 竜輝 (東工大) 「中性子照射した SiC 及び SiCf/SiC 複合材料の水熱腐食挙動の評価」
- 寺山 怜志 (東京大) 「回帰型ニューラルネットワークを用いた動的機器の早期異常検知」

-奨励賞：18名

- 加藤 史大 (芝浦工大) 「放射性核種の安定固化を目指した使用済みゼオライト焼結固化法の基礎検討」
- 木田 福香 (芝浦工大) 「Na高含有放射性廃液からの選択的核種回収を指向した高性能キレート吸着材の開発」
- 長橋 孝将 (都市大) 「EXAFSによる放射性セシウム溶出機構の解明」
- 関口 裕真 (東京大) 「計算科学手法によるアルカリハライド溶融塩中Cs-Iの挙動分析」
- 荘司 成熙 (東工大) 「広帯域位相差分法による超音波流速分布計測計の計測速度限界拡張と漏洩箇所調査への適用検討」
- 高橋 望 (早稲田大) 「鉛ビスマス半球容器アブレーション実験のMPS法による解析の高度化」
- 川上 令央 (早稲田大) 「MPS法による層流水の凍結に伴う平行板流路部分閉塞実験の解析」
- 高口 祥平 (東工大) 「ガラス溶融炉におけるジュール加熱対流に関する基礎研究」
- 平川 萌 (東海大) 「ナトリウム冷却高速炉の自由液面からのガス巻込み現象の分析-流れ場のSt数に関する実験と解析の比較検証-」
- T. Pornphatdetaudom (東工大) 「Lattice Parameter Change of Highly Oriented Aluminum Nitride by Neutron Irradiation」

10

2. 2018年度 活動報告

(7) 学生研究発表会(つづき)

- M. Fajar (東工大) 「Investigation of crystallographic orientation of boron carbide fabricated in high magnetic field for improvement of fast breeder reactor」
 - 鈴木 直道 (早稲田大) 「FeCrAl-ODS被覆燃料の通常運転時ふるまい予測のための照射マトリックスの研究」
 - 奥井 務 (早稲田大) 「軸方向非均質炉心を有するスーパー高速炉の制御棒誤引き抜き時の安全解析」
 - 中野 秀仁 (東工大) 「核破碎中性子源を用いた核データ測定のための中性子ビームモニターの開発」
 - P. Michel (東京大) 「CT slice prediction with optical flow for delay compensation in image-guided lung radiotherapy」
 - 横山 諒 (都市大) 「損傷炉心物質の共晶熔融と流動性に関する実験的研究」
 - レガルド 真理子 (早稲田大) 「MELCOR-2.2による福島第一原子力発電所3号機炉心崩落時の熱状態の推定」
 - 松原 健斗 (早稲田大) 「BWR過酷事故時減圧タイミングがFP放出量に及ぼす影響のMELCOR感度解析」
- 倫理小委員会活動報告：田辺 朗 幹事「技術者倫理」
- 特別講演：佐藤 優樹氏 (原子力機構) 「小型軽量放射線イメージング技術の開発と実証」



発表会



表彰式



参加者集合写真

11

2. 2018年度 活動報告

(8) 支部幹事会

• 第1回 2018年11月21日(水) 14:00~16:00 電中研 狛江地区第3棟31会議室

主な議題：

- ①小委員会からの定例報告(総務/倫理/企画/表彰/広報)
- ②2018年度 支部活動実績・計画
- ③学会フェローの支部推薦について
- ④2019-2020年度代議員支部推薦について
- ⑤2018年度支部賞募集状況について
- ⑥2019年度 予算案
- ⑦2019年度 支部大会の開催要領について

• 第2回 2019年2月26日(火) 15:30~17:20 電中研 大手町地区734会議室

主な議題：

- ①2018年度 支部賞 受賞候補案の承認
- ②2019年度 支部体制について
- ③支部規則類の改定について
- ④2018年度/2019年度支部活動実績および計画案について
- ⑤2019年度 支部大会 開催要領
- ⑥小委員会からの定例報告(総務/倫理/企画/表彰/広報)

12

2. 2018年度 活動報告

(9) 企画小委員会

- **第1回** 2018年4月5日(木) 14:00~15:00 電中研大手町地区 711会議室
主な議題: ①第11回 学生研究発表会の実施報告
②2018年度 活動計画および予算案、企画小委員会の体制
- **第2回** 2018年5月31日(木) 15:30~17:20 電中研大手町地区 711会議室
主な議題: ①2018年度原子力オープンスクールについて
- 「科学の祭典2018」、「会員獲得・原子力理解活動」
- **第3回** 2018年7月5日(木) 16:00~17:20 電中研大手町地区 711会議室
主な議題: ①2018年度原子力オープンスクールの準備について: 「科学の祭典2018」、「会員獲得・原子力理解活動」
②電中研 我孫子地区 研究設備見学会報告
③1F/JAEA研究施設見学会の準備状況について
④「女子中高生夏の学校2018」への協力(準備状況について)
- **第4回** 2018年10月10日(水) 15:00~17:20 電中研狛江地区 第3棟31会議室
主な議題: ①第17回 若手研究者・技術者発表討論会の準備状況について
②「科学の祭典2018」、「会員獲得・原子力理解活動」のオープンスクール実施報告
③1F/JAEA研究施設見学会実施報告
④「女子中高生夏の学校2018」実施報告
- **第5回** 2019年2月19日(火) 15:00~17:20 電中研狛江地区 第3棟31会議室
主な議題: ①第12回 学生研究発表会の準備状況について
②2019年度企画小委員会体制および活動計画について

13

2. 2018年度 活動報告

(10) 表彰小委員会

- **第1回** 2018年10月22日(月) 14:00~15:30 電中研 大手町地区710A会議室
主な議題:
①2018年度支部賞募集について
②第17回若手研究者・技術者発表討論会実施報告
- **第2回** 2019年2月7日(木) 14:00~16:00 電中研 大手町地区728会議室
主な議題:
①2018年度支部賞 受賞候補の審議
②第12回学生研究発表会への審査協力について

14

2. 2018年度 活動報告

(1 1) 倫理小委員会

- 原子力学会倫理委員会との連携
 - 第103回 2018. 4. 23
 - 第104回 2018. 6. 19
 - 第105回 2018. 8. 6
 - 第106回 2018. 9. 7
 - 第107回 2018. 9. 21
 - 第108回 2018. 11. 14
 - 第109回 2019. 1. 23
 - 第110回 2019. 3. 14
 - 第22回 倫理研究会 (2018. 9. 21)
 - テーマ：原子力安全のための組織文化と技術者倫理
 - 原子力学会企画セッション (2018. 9. 7)
 - テーマ：災害に備えるために必要となる原子力関係者の倫理
 - 原子力学会企画セッション (2019. 3. 22)
 - テーマ：起き続ける品質不正問題と倫理 ～原子力界として学ぶべき課題～
- 関東・甲越支部
 - 関東・甲越支部 第12回学生研究発表会 技術者倫理プレゼン (2019. 3. 8)

(1 2) 総務小委員会

- 学会フェローの支部推薦提案
- 2019-2020年度代議員の支部推薦提案
- 支部規定の改定に伴う関東・甲越支部規約改定案の提案

15

2. 2018年度 活動報告

(1 3) 広報小委員会

- 支部行事広報活動
 - 支部大会
 - 電中研 我孫子地区設備見学会
 - 「青少年のための科学の祭典」及び「会員獲得・原子力理解活動」オープンスクール
 - 関東・甲越支部現地情報交換会 (1F、JAEA見学会)
 - 若手研究者・技術者発表討論会、学生研究発表会
- 支部ホームページの管理運営
 - 支部表彰、若手研究者・技術者発表討論会及び学生研究発表会の募集ポスター、受賞者一覧掲載、当日の写真
 - 「青少年のための科学の祭典2018」、 「会員獲得・原子力理解活動」当日の写真
 - 設備見学会・情報交換会当日の写真
- 学会メーリングリストへの配信
 - 支部大会開催の案内
 - 支部賞、若手研究者・技術者発表討論会、学生研究発表会の募集案内
- 支部メーリングリスト管理
 - 委員交代などによる整備

16

3. 平成30年度 収支報告（暫定）

この会計報告は暫定額です。決算は6月の総会によって承認される予定です。

1.収入の部

項目	予算額	実績額	予算残/差異 (予算-実績)
1.本部予算配分金収入	1,905,000	1,905,000	0
2.参加費収入	240,000	296,000	▲56,000
合計	2,145,000	2,201,000	▲56,000

2.支出の部

項目	予算額	実績額	予算残/差異 (予算-実績)
1.臨時員賃金	285,000	157,000	128,000
2.臨時員通勤手当	0	16,032	▲16,032
3.会議費	490,000	493,004	▲3,004
4.旅費交通費	820,000	713,250	106,750
5.通信運搬費	17,000	13,331	3,669
6.消耗品費	20,000	17,348	2,652
7.一般外注経費	280,000	211,694	68,306
8.出展費	100,000	278,432	▲178,432
9.保険料	60,000	22,800	37,200
10.贈謝金	40,000	0	40,000
11.雑費	33,000	1,620	31,380
当期経常増減額	-	276,489	▲276,489
合計	2,145,000	2,201,000	▲56,000

17

3. 平成30年度 収支報告（暫定）

この会計報告は暫定額です。決算は6月の総会によって承認される予定です。

項目	合計	支部大会	幹事会	企画 小委員会	表彰 小委員会	科学の 祭典OS	電中研 見学会	1F 見学会	若手研究 発表会	学生研究 発表会	秋の 大会	春の 年会	その他	
収入実績	予算配分金収入	1,905,000	221,000	0	0	0	270,000	0	556,000	241,000	316,000	150,000	120,000	31,000
	参加費収入	240,000	58,000	22,000	0	0	0	0	58,000	77,000	81,000			
	収入計(A)	2,201,000	279,000	22,000	0	0	270,000	0	614,000	318,000	397,000	150,000	120,000	31,000
支出実績	臨時雇賃金支出	157,000					77,000			80,000				
	臨時雇通勤手当	16,032					16,032							
	会議費	493,004	88,872	45,876					114,115	107,131	137,010			
	旅費交通費	713,250	40,460	19,352	92,880	28,780			463,074	30,280	21,232		17,192	
	通信運搬費	13,331					11,347							1,984
	消耗品費	17,348								7,258	10,090			
	一般外注経費	211,694							24,234	187,460				
	出展費	278,432					62,504	75,168	140,760					
	保険料	22,800							22,800					
	贈謝金	0												
	雑費	1,620							972	648				
支出計(B)	1,924,511	129,332	65,228	92,880	28,780	166,883	75,168	740,749	169,875	436,440	0	17,192	1,984	
当期経常増減額(C)	276,489	149,668	-43,228	-92,880	-28,780	103,117	-75,168	-126,749	14,8125	-39,440	150,000	102,808	29,016	
H30年度予算収支計A-B-C	0													

18

4. 支部規則改訂の審議

添付資料をご参照下さい

- 添付資料1 教育会員新設に伴う規則類の改定等について
- 添付資料2 0901 支部規程
- 添付資料3 0901-04 関東・甲越支部規約 ← 第4条の改定案

19

5. 2019年度 支部長の交代及び支部幹事の選任等

No	役職名	氏名	所属	備考
1	支部長	武田 哲明	山梨大学大学院 総合研究部 工学域 機械工学系 教授	代議員
2	副支部長 (表彰小委員会委員長)(会計監査)	玉田 正男	国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構 量子ビーム科学部門 研究企画部 次長	代議員
3	副支部長	松崎 浩之	東京大学総合研究博物館 教授	代議員
4	副支部長 (倫理小委員会委員長)	松澤 寛	三菱重工業株式会社 パワードメイン 原子力事業部 原子力技術部 部長代理	代議員
5	幹事 (総務小委員会委員長)	後藤 正治	東京電力ホールディング株式会社 原子力設備管理部 スペシャリスト 兼 経営技術戦略研究所 研究総括室 企画戦略グループ	新任
6	幹事 (企画小委員会委員長)	松浦 治明	東京都市大学 工学部 原子力安全工学 准教授	新任 代議員
7	幹事 (広報小委員会委員長)	笹原 昭博	一般財団法人 電力中央研究所 スタッフ 上席研究員	新任
8	幹事 (庶務担当)	新井 剛	芝浦工業大学 工学部 材料工学科 教授	
9	幹事 (庶務担当)	苅込 敏	日本原子力発電株式会社 廃止措置プロジェクト推進室 室長	
10	幹事 (庶務担当)	木倉 宏成	東京工業大学 科学技術創成研究院 先導原子力研究所 准教授	
11	幹事 (庶務担当)	鈴木 達也	長岡技術科学大学大学院 工学研究科 原子力システム安全工学専攻 安全技術講座 教授 ラジオアイソトープセンター長	
12	幹事 (庶務担当)	岡田 往子	東京都市大学 原子力研究所 准教授	代議員
13	幹事 (庶務担当)	吉田 拓真	日立GEニュークリア・エナジー株式会社 原子力技術本部 シニアプロジェクトマネージャ	
14	幹事 (庶務担当)	椋木 敦	日揮株式会社 国内インフラプロジェクト本部 チーフエンジニア	代議員
15	幹事 (庶務担当)	古谷 正裕	早稲田大学 先進理工学研究所 共同原子力専攻 教授	新任
16	幹事 (庶務担当)	吉田 茂生	東海大学 工学部 原子力工学科 教授	代議員
17	幹事 (会計担当)	田辺 朗	東芝エネルギーシステムズ(株) パワーシステム事業部 技監	
	事務局長	藤田 真也	東芝エネルギーシステムズ株式会社 原子力事業部 原子力企画室 企画第三担当	20

6. 2019年度 事業計画 (案)

- | | |
|---------------------------------|--------------|
| (1) 支部大会 (電中研大手町本部) | 4/12 |
| (2) 見学会 (JAEA東濃地科学センターなど) | 6月頃 |
| (3) 原子力オープンスクール | |
| ◆ 科学技術館 (青少年のための科学の祭典2019全国大会) | 7/27-28 |
| ◆ 東芝未来科学館 | 8/23-24 |
| (4) 第18回 若手研究者・技術者発表討論会 | 10月下旬 |
| (5) 第13回 学生研究発表会 (会員獲得・原子力理解活動) | 2020年3月上旬 |
| (6) 支部賞募集 | 10月頃 |
| (7) 秋の大会への学生参加支援 (富山大) | 9/11-13 |
| (8) 春の大会への学生参加支援 (福島大) | 2020/3/16-18 |
| (9) 支部幹事会 (第1回) | 10月頃 |
| (10) 支部幹事会 (第2回) | 2020年2月頃 |

6. 2019年度 事業計画 (案)

No.	項目	実行委員	2019年度												2020年度	備考		
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月			
	支部大会	事務局	▽4/12														▽4月支部大会 (東芝ES)	
	支部幹事会	事務局									▽11月下旬				▽2月下旬第2回支部賞承認			
	表彰小委員会	事務局	▽4/12支部賞表彰式 (支部大会)								▽10月中旬頃第1回支部賞募集 ▽10月若手発表会 審査協力				▽1月中旬支部賞応募締切	▽2月初旬第2回 (東芝ES)	▽3月初旬～中旬学生発表会 審査協力	▽4月支部賞表彰式 (支部大会)
	企画小委員会	事務局	▽4/12第1回 (電中研)	▽5月頃第2回 (東芝ES)			▽7月第3回 (東芝ES)				▽10月第4回 (東芝ES)				▽2月中旬第5回 (東芝ES)			▽4月2020年度第1回 (東芝ES)
1	見学会/講演会 Atoms for Future	事務局			▽6月見学会 (JAEA東濃地科学センター)													
2	原子力オープンスクール (青少年のための科学の祭典)	吉田先生 (東海大)	4月下旬学会本部OS小委員会				▽7月上旬第2回OSWG											
3	原子力オープンスクール	吉田先生, 新井先生 (東海大, 芝工大)	▽4月下旬科研費補助金内定後の登録申請	▽5月第1回OSWG			▽7/27-28科学の祭典 (科学技術館)	▽8/23-24 (東芝未来科学館)			▽10月科研費申請							4月上旬採択可否通知
4	若手研究者発表討論会	武田先生 (山梨大)				▽7月下旬若手発表WG			▽9月上旬申込締切 ▽9月下旬予稿締切		▽10月若手研究者・技術者発表討論会 (東工大)							優秀発表学生2名を2020年春の年会 (福島大) の参加支援
5	学生研究発表会		2018年度学生研究発表会		2019/3/8 優秀発表学生 (2019年秋の大会へ)									▽1月中旬募集 WEBアップ	▽2月初め参加締切り ▽2月中旬予稿締切	▽3月初め～中旬学生研究発表会		優秀の大学院生学部生各1名を2020年秋の大会 (九大) の参加支援
6	年会・大会への学生参加支援	事務局 (若手研究者発表討論会) (学生研究発表会)							▽9/11-13原子力学会秋の大会 (富山大)						ポスター支援申請	▽3/16-18原子力学会春の年会 (福島大)		

7. 2019年度 収支予算 (案)

本予算(案)は3月の理事会にて承認されております。

科目コード		上期 (4~9月)	下期 (10~3月)	合計	内 訳 (使 途)	
収入	会費収入	-		0		
	(A)本部予算配分金収入	4531	1,443,000	1,443,000	部会・支部のみ入力	
	参加費収入	4201	60,000	80,000	140,000	支部大会¥60,000. 若手研究発表会¥80,000.
	テキスト(論文集)売上収入	4361			0	
	受託料収入	4641			0	20%を本部回収額支出に計上(規程0303) (受託事業:120万円or20%のいずれか多い額)
	協賛・後援・賛助金収入	4681			0	20%を本部回収額支出に計上(規程0303)
	寄付金収入	4721			0	20%を本部回収額支出に計上(規程0303)
					0	
	その他収入(上記以外)	-			0	
	(B)収入計		1,503,000	80,000	1,583,000	
支出	臨時雇賃金支出	5021	180,000	35,000	215,000	原子力オープンスクール¥180,000. 若手研究者発表討論会¥35,000.
	会議(会場)費支出	5041	130,000	160,000	290,000	支部大会¥120,000. 原子力オープンスクール¥10,000. 若手研究者発表討論会¥160,000.
	旅費交通費支出	5051	580,000	180,000	760,000	支部大会¥50,000. 原子力オープンスクール¥10,000. 秋の大会旅費補助¥120,000. 春の大会旅費補助¥120,000. 見学会等移動¥400,000
	通信運搬費支出	5061	1,000	5,000	6,000	若手研究者発表討論会¥30,000. 若手発表会特別講演¥30,000.
	消耗品費支出	5091		10,000	10,000	若手研究者発表討論会¥10,000.
	一般外注経費支出	5111		180,000	180,000	若手研究者発表討論会¥80,000. 支部表彰¥100,000.
	出展費支出	5121			0	
	委託費支出	5131			0	
	諸謝金支出	5161			0	
	本部回収額支出	5301			0	
			120,000	2,000	122,000	保険料¥100,000. 原子力オープンスクールなどの雑費¥22,000.
					0	
	その他支出(上記以外)	-			0	
	(C)支出計		1,011,000	572,000	1,583,000	
	2019年度予算収支尻 (B)-(C)		492,000	-492,000	0	

7. 2019年度 収支予算 (案)

本予算(案)は3月の理事会にて承認されております。

事業名	科目	支部大会 (4月)	オープンスクール (夏休み)	秋の大会 (9月)	見学会 or講演会 (夏休み近傍)	メーリング リスト	その他	上期計 (4~9月)	若手発表会 (10月)	学生発表会 (3月)	春の年会 (3月)	H31年度支部表彰 (4月上旬)	その他	下期計 (10~3月)	合計
収入	会費収入	-						0						0	0
	本部予算配分金収入	14531					1,443,000	1,443,000						0	1,443,000
	参加費収入	14201	60,000					60,000	80,000					80,000	140,000
	テキスト(論文集)売上収入	14361						0						0	0
	受託料収入	14641						0						0	0
	協賛・後援・賛助金収入	14681						0						0	0
	寄付金収入	14721						0						0	0
	受取利息収入	14731						0						0	0
								0						0	0
								0						0	0
収入計		60,000	0	0	0	0	1,443,000	1,503,000	80,000	0	0	0	0	80,000	1,583,000
支出	臨時雇賃金支出	15201	180,000					180,000	35,000					35,000	215,000
	会議(会場)費支出	15041	120,000	10,000				130,000	160,000					160,000	290,000
	旅費交通費支出	15051	50,000	10,000	120,000	400,000		580,000	30,000		120,000		30,000	180,000	760,000
	通信運搬費支出	15061					1,000	1,000	5,000					5,000	6,000
	消耗什器備品費支出	15071						0						0	0
	消耗品費支出	15091						0	10,000					10,000	10,000
	一般外注経費支出	15111						0	80,000				100,000	180,000	180,000
	出展費支出	15121						0						0	0
	委託費支出	15131						0						0	0
	賃借料支出	15141						0						0	0
	保険料支出	15151		60,000		40,000		100,000						0	100,000
	諸謝金支出	15161						0						0	0
	雑費支出	15171	10,000	10,000				20,000	1,000			1,000		2,000	22,000
	負担金支出	15181						0						0	0
	本部回収額支出	15301						0						0	0
							0						0	0	
支出計		180,000	270,000	120,000	440,000	1,000	0	1,011,000	321,000	0	120,000	101,000	0	572,000	1,583,000
収支		▲120,000	▲270,000	▲120,000	▲440,000	▲1,000	1,443,000	492,000	▲241,000	0	▲120,000	▲101,000	0	▲30,000	▲492,000

8. 2018年度 支部表彰

- 技術貢献賞 3件
 - ガンマ線照射施設における線量計測・評価の信頼性の継続的な確保
 - 竜巻飛来物に対する高強度金網を用いた防護方策の実用化
 - 使用済燃料プール内燃料集合体落下時の床面衝撃評価
- 原子力知識・技術の普及貢献賞 2件
 - 赤城大沼湖沼生態系における放射性セシウムの挙動の総合的な研究・調査と地元への理解活動
 - 放射線グラフト重合法に基づく高速高機能吸着材の開発・普及
- 支部貢献賞 0件

25

8. 2018年度 支部表彰

- 技術貢献賞
 - ガンマ線照射施設における線量計測・評価の信頼性の継続的な確保

受賞者 清藤 一氏（量子科学技術研究開発機構）

採択の理由

プラスチック線量計や計算機シミュレーションを駆使して照射場の特性評価に一貫して14年に渡り携わり、最適なガンマ線の線源配置による均一な照射場の形成と正確な照射線量データを利用者へ提供してきた。これまで蓄積したノウハウを駆使して線量測定・評価法の妥当性を詳細に調べた結果、国際的な標準機関である英国物理学研究所でのデータとの間で高い相関性が見出された。候補者の長年に渡る地道なガンマ線照射施設の利用者への線量データの提供は、共用性の拡大にも大いに貢献しており、技術貢献賞に相応しい。

26

8. 2018年度 支部表彰

• 技術貢献賞

-竜巻飛来物に対する高強度金網を用いた防護方策の実用化

受賞者 白井 孝治氏（電力中央研究所）

共同受賞者 南波 宏介氏（電力中央研究所）

採択の理由

2014年から2015年にかけて防護対策実施例がない状況から高強度金網とその取り付け部に緩衝機構を組み込んだ防護方策を考案し、設計・製作された防護ネットは、新規制基準に適合することが確認された。その考案は、10社・1大学の原子力発電所や原子力施設に飛来物対策として採用されている。更に、2016年に構築した対策工の設計に適用可能な飛来物衝突時の衝撃応答評価法は、電力各社が新規制基準適合性審査資料に引用され活用されている。本成果は、原子力プラントの施設の性能維持に関して、優れた功績であり、技術貢献賞に相応しい。

27

8. 2018年度 支部表彰

• 技術貢献賞

-使用済燃料プール内燃料集合体落下時の床面衝撃評価

受賞者 前田 義明氏（株式会社セレス）

共同受賞者 川 芳昭氏、小池 訓弘氏（株式会社セレス）

採択の理由

燃料集合体を構成する被覆管（中は中空）やチャンネルボックスは長さ4.5 m、重量93 kgであり、その大きさから水中での抗力試験を行う施設を見つけるのが困難であった。候補者は、模擬燃料集合体の抗力係数を精度良く測定できるようにするため長さ160 mの巨大水路に沿って移動する計測車に模擬燃料集合体に適した支持構造を考案することで、正確な抗力係数の測定を実現した。原子力プラントの運転管理への技術支援として、柔軟な発想によりニーズに対応できる試験法を考案して試験を遂行し、原子力発電所の再稼働に貢献した成果は技術貢献賞に相応しい。

28

8. 2018年度 支部表彰

- 原子力知識・技術の普及貢献賞
- 赤城大沼湖沼生態系における放射性セシウムの挙動の総合的な研究・調査と地元への理解活動
受賞者 角田 欣一氏（群馬大学）
共同受賞者 久下 敏宏氏、鈴木 究真氏、新井 肇氏、渡辺 峻氏（群馬県水産試験場）

採択の理由

東京電力福島第一原子力発電所事故から7年に渡る現在まで、群馬県の赤城大沼湖沼で放射性セシウムの動向を調査し、閉鎖的な湖沼での生態系を含めた動向を明らかにした。得られた成果である放射性セシウムの汚染の将来予測精度向上については、地元である赤城大沼漁業協同組合及び前橋市への地元説明会を実施した。それにより、「放射線・放射能」の知識普及に務め、風評被害の防止や地域の再活性化に大いに貢献した。このように地元と一体化した長期の調査は原子力の知識普及への寄与が多大であり、原子力知識・技術の普及貢献賞に相応しい。

29

8. 2018年度 支部表彰

- 原子力知識・技術の普及貢献賞
- 放射線グラフト重合法に基づく高速高機能吸着材の開発・普及
受賞者 斉藤 恭一氏（千葉大学）

採択の理由

放射線グラフト重合法は放射線を利用してイオンなどを選択的に捕捉する材料を作製する放射線利用技術である。その方法で作製された中空糸の高速タンパク質吸着材は、医薬品製造用として旭化成メディカルで商品化されている。また、イオンとコロイド粒子の同時吸着が可能な放射性セシウム除去用吸着繊維は2011年に環境浄化研究所で量産化に成功し、東京電力福島第一原子力発電所の汚染水前処理に採用されている。放射線利用による吸着材の製品化・実用化に係る知見も加えた成書4冊が出版されており、国内外に対しての放射線利用の知識普及への貢献が大きく、原子力知識・技術の普及貢献賞に値する。

30